

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年9月13日
【四半期会計期間】	第9期第1四半期（自平成29年5月1日至平成29年7月31日）
【会社名】	ライクキッズネクスト株式会社 （旧会社名 サクセスホールディングス株式会社）
【英訳名】	LIKE Kidsnext Co.,Ltd. （旧英訳名 SUCCESS Holdings Company Limited）
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐々木 雄一
【本店の所在の場所】	東京都品川区西五反田一丁目1番8号
【電話番号】	03-6431-9899（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部長 石井 大介
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区西五反田一丁目1番8号
【電話番号】	03-6431-9899（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部長 石井 大介
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）平成29年7月28日開催の第8回定時株主総会の決議により、平成29年8月1日から会社名を上記のとおり変更いたしました。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第8期 第1四半期 連結累計期間	第9期 第1四半期 連結累計期間	第8期
会計期間	自平成28年5月1日 至平成28年7月31日	自平成29年5月1日 至平成29年7月31日	自平成28年5月1日 至平成29年4月30日
売上高 (千円)	3,511,676	4,266,531	14,724,791
経常利益 (千円)	174,888	549,570	1,018,816
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	114,921	370,981	694,765
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	120,614	375,512	733,318
純資産額 (千円)	2,151,142	3,034,540	2,711,436
総資産額 (千円)	10,689,562	11,150,353	12,184,931
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	21.93	70.79	132.57
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	19.20	61.99	116.09
自己資本比率 (%)	20.1	27.2	22.3

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、海外経済の不確実性はあるものの、各種政策の効果もあり、緩やかに回復へ向かうことが期待されております。

保育業界におきましては、特に保育士や用地の確保等の課題が大きい都市部において、待機児童問題はますます深刻化しており、内閣府は今年度に企業主導型保育所を2万人分増やし、厚生労働省は平成31年度末までに22万人分の予算確保を目指す中で、平成30年度分として企業主導型保育所の増加分を除く9万人分の予算措置を求めると、保育施設の新規開設と保育士の確保を推進すべく様々な施策が導入されております。

このような状況のもと、当社グループでは、親会社であるライク株式会社の連結子会社である総合人材サービス事業を営むライクスタッフィング株式会社との連携により、保育士の採用力と定着率の向上を図り、認可保育園・学童クラブ等の公的保育施設の開設と、事業所内保育施設の受託の強化と収益性の改善に注力いたしました。

さらに、平成29年8月1日に、当社については「ライクキッズネクスト株式会社」へ、連結子会社の株式会社サクセスアカデミーについては「ライクアカデミー株式会社」へ商号を変更いたしました。求職者様、スタッフ様、保育・介護施設の利用者様、顧客企業様、株主様、従業員等全てのステークホルダーに愛される企業グループでありたいという気持ちを込めた「LIKE（ライク）」を根幹にブランドを統一することで、利用者様から選ばれ続ける質の高い保育サービスの提供と研修コンテンツの拡充による保育業界における人材の創出に、より一層注力してまいります。

当第1四半期連結累計期間において新たに開設した施設は2施設となりました。

（公的保育事業）	合計2施設
・認可保育園	合計2施設
東京都	2施設（北区1施設、板橋区1施設）

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,266,531千円（前年同四半期比21.5%増）、営業利益は319,957千円（同1,948.5%増）、経常利益は549,570千円（同214.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は370,981千円（同222.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### （受託保育事業）

受託保育事業におきましては、企業・病院・大学等が設置する保育施設を受託運営しておりますが、平成29年4月に実施いたしました受託契約の見直しにおいて、閉鎖となる施設もあり全体の受託数は減少したものの、多くの施設で適正な利益での契約更改が成功した結果、増収増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は980,165千円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益は67,021千円（同97.1%増）となりました。

#### （公的保育事業）

公的保育事業におきましては、立地等の条件面でも保育の品質においても利用者様に選ばれ続ける認可保育園や学童クラブ等の新規受注と開設に注力し開設コストが発生したものの、補助金の増額等もあったため、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,286,366千円（前年同四半期比27.6%増）、営業利益は516,552千円（同129.1%増）となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,600,000
計	18,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年7月31日)	提出日現在発行数(株) (平成29年9月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,241,000	5,241,000	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、 権利内容に何ら限定のな い当社における標準とな る株式であります。な お、単元株式数は100株 であります。
計	5,241,000	5,241,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成29年5月1日～ 平成29年7月31日		5,241,000		285,771		503,893

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年4月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

平成29年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,239,800	52,398	-
単元未満株式	普通株式 1,200	-	-
発行済株式総数	5,241,000	-	-
総株主の議決権	-	52,398	-

【自己株式等】

平成29年7月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成29年5月1日から平成29年7月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成29年5月1日から平成29年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,527,387	1,776,525
受取手形及び売掛金	1,024,993	878,550
原材料及び貯蔵品	425	425
繰延税金資産	141,984	141,984
未収入金	649,337	4,861
その他	344,189	360,195
貸倒引当金	2,700	2,506
流動資産合計	4,685,617	3,160,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,518,869	6,781,767
減価償却累計額	1,555,702	1,654,890
建物及び構築物(純額)	4,963,167	5,126,877
リース資産	689,528	689,528
減価償却累計額	125,693	133,831
リース資産(純額)	563,835	555,697
建設仮勘定	263,171	532,613
その他	404,253	412,497
減価償却累計額	262,035	275,896
その他(純額)	142,217	136,601
有形固定資産合計	5,932,392	6,351,790
無形固定資産	41,908	38,954
投資その他の資産	1,525,012	1,599,574
固定資産合計	7,499,313	7,990,318
資産合計	12,184,931	11,150,353



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	951,608	905,279
リース債務	30,601	30,757
未払金	716,276	563,411
未払法人税等	118,600	212,404
未払消費税等	758,976	72,141
前受金	349,129	310,218
賞与引当金	335,821	219,991
その他	406,645	196,218
流動負債合計	4,167,660	3,010,422
<b>固定負債</b>		
転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	3,289,429	3,078,417
リース債務	544,770	537,021
退職給付に係る負債	194,114	202,918
資産除去債務	277,520	287,033
固定負債合計	5,305,834	5,105,391
負債合計	9,473,494	8,115,813
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	285,771	285,771
資本剰余金	510,439	510,439
利益剰余金	1,965,768	2,284,341
自己株式	137	137
株主資本合計	2,761,841	3,080,414
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	106	92
退職給付に係る調整累計額	50,511	45,966
その他の包括利益累計額合計	50,405	45,874
純資産合計	2,711,436	3,034,540
負債純資産合計	12,184,931	11,150,353

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
売上高	3,511,676	4,266,531
売上原価	3,022,833	3,376,912
売上総利益	488,842	889,618
販売費及び一般管理費	473,223	569,660
営業利益	15,619	319,957
営業外収益		
受取利息	1,444	1,487
設備補助金収入	156,250	223,081
その他	11,493	14,531
営業外収益合計	169,187	239,100
営業外費用		
支払利息	9,686	9,444
その他	232	43
営業外費用合計	9,918	9,488
経常利益	174,888	549,570
税金等調整前四半期純利益	174,888	549,570
法人税等	59,966	178,588
四半期純利益	114,921	370,981
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,921	370,981

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
四半期純利益	114,921	370,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	14
退職給付に係る調整額	5,762	4,545
その他の包括利益合計	5,693	4,530
四半期包括利益	120,614	375,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,614	375,512

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
減価償却費	108,546千円	125,498千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年7月22日 定時株主総会	普通株式	52,409	10	平成28年4月30日	平成28年7月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年7月28日 定時株主総会	普通株式	52,409	10	平成29年4月30日	平成29年7月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	936,220	2,575,455	3,511,676	-	3,511,676
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	936,220	2,575,455	3,511,676	-	3,511,676
セグメント利益	34,006	225,484	259,491	243,872	15,619

(注)1. セグメント利益の調整額 243,872千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	980,165	3,286,366	4,266,531	-	4,266,531
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	980,165	3,286,366	4,266,531	-	4,266,531
セグメント利益	67,021	516,552	583,574	263,616	319,957

(注)1. セグメント利益の調整額 263,616千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	21円93銭	70円79銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	114,921	370,981
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	114,921	370,981
普通株式の期中平均株式数(株)	5,240,908	5,240,908
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	19円20銭	61円99銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数(株)	744,047	744,047
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(744,047)	(744,047)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年9月13日

ライクキッズネクスト株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古山 和則 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 安田 智則 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているライクキッズネクスト株式会社（旧会社名 サクセスホールディングス株式会社）の平成29年5月1日から平成30年4月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成29年5月1日から平成29年7月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成29年5月1日から平成29年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ライクキッズネクスト株式会社（旧会社名 サクセスホールディングス株式会社）及び連結子会社の平成29年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。